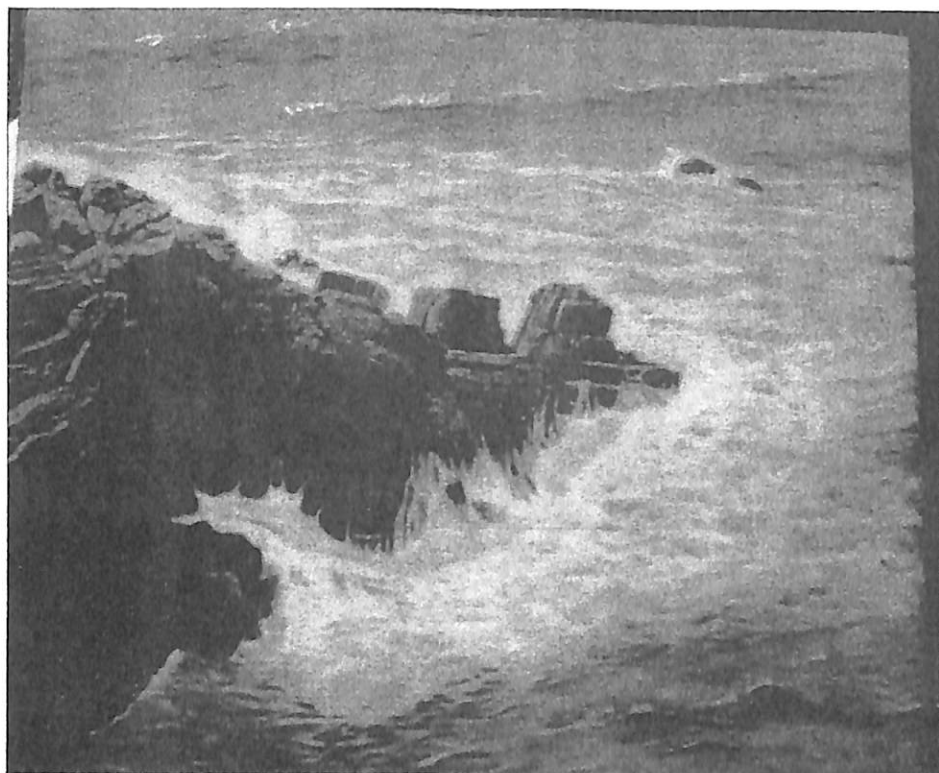




県国賠同盟監査 稲村正志氏提供

出雲市市長賞受賞作品『打ち寄せる荒波』

不屈

2022年2月

No・329号

治安維持法国賠

同盟島根県本部

〒693-0033

出雲市知井宮町

750-2

小玉信恵

☎・Fax

0853-23-3829

佐々木会長メッセージ

『署名への本気度が問われている！』

コロナだ、オミクロンだ、高齢化だ：と否定的なことに甘んじていないだろうか。私たちの先人が、治安維持法により（国の名のもとに）土に閉じ込められたり虐殺された歴史を埋もれさせていいのだろうか。改憲勢力がウソと捏造で今も政治を蹂躪していることを、このまま受け入れるわけにはいかない。

私たちの知恵は枯渇してしまっているのか。条件が厳しければ、電話で頼み署名と一緒に切手を貼った封筒を同封して・・・という方法もある。

そして返信を頂いた方に、6月の全国総会に向けて会員のお誘いにつなげることもできる。

歴史を作るのは私たちです。ともに頑張りましょう。

国賠同盟 会長 佐々木忠宣（談）

国ブロックへの活動報告

益田・唐生支部 支部長 城市 昇

「最初から固い話は止めにして世間話から」お話しします。去る1月10日に大塚様といことがありました。それは中学時代の同窓生7人と。益田市本町の「市原家」でのランチ会の時でした。この小料理屋根ざんにはいたるようには有名人・無名人の画家の絵画が所せまじと並んでいました。桂太郎の掛け軸もかざってありました。

私の眼を惹いたのは派、女流作家で有名な下村松園の『序の舞』でした。私が余りにも目を凝らしてみ觀ていたせいか、女将さんが『城市さん欲しいか何かの縁じゃああげてもええよ』と言ってくれました。わたしはそれこそ喜色満面。その日にいただいたのはカレンダーでしたが、翌日国民救援会の定期大会へ行く途中に携帯に電話がなりました。私は自転車を降りて聞きました。

そうするとあの肝つ玉女将さんが『城市さん。私は気になって探しておったんよ。そうしたらやっぱり出てきんちゃった』『序の舞』のリトグラフが。これをあげようといつてもきんちゃい。私はすっかり有頂天。女将のキップの良さにほれまじった。ランチ代は1650円でとても美味しかった。特に飯の粒がたつていて本当に美味かった。しかし『序の舞』のリトグラフはいくらなんでも数万円するもの。何十倍も得をした気分でした。それにしても日本共産党員である私を差別することなく誘ってくれる同窓生には感謝の念でいっぱいです。『しんぶん赤旗』日曜版読者で一度でもあった同窓生9人。故人は10人。したがって15%が読者だったことになる計算です。

みなさん私は、夜のテレビ番組はつくものがないので、TBSチャンネルで『渡る間は鬼ばかり』を觀ています。第1に、岡倉大吉の藤岡琢也の演技が上手いこと『大吉』ですから縁起が良いこと。第2は、本間長子と藤田朋子の上着が毎回変わっていること、第3に『男はつら

いよ』シリーズと決定的違いがあるのは、ヒールのブランド。『男は』の方はキリン、『渡る』は、アサヒヒールです、そして、滅多おめにかかれない珠子役の森光子。向田邦子のエッセイ『眠る盆』にはセリフの記憶力抜群の双葉として森光子と森重久弥の名があがっています。向田邦子は『しんぶん赤旗』の熱心な読者で、マルクスやエンゲルスの名を平気でエッセイにかいていました。

また私の城市という氏。楠孝雄著『南朝悲史 楠氏と石州益田』に城市氏が登場。秀吉の朝鮮侵略戦争に従軍していた城市正綱が『何の大義も名分も無かった』と益田氏に申し出て、匹馬澄川に隠遁生活をしたそうです。反戦の闘志の血筋をひく者として誇ります。本題に入ります。

先の総選挙の結果について私は『野党共闘』は大きな効力を発揮。ホップ、ステップ、ジャンプの総選挙で『きつと』『政権交代』はできる可能性は大きいと確信しています。2016年の6中総で日本共産党の志位和夫委員長は『階級闘争の弁証法』を述べ、先の4中総では『政治的対決の弁証法』の観点から総括しています。

元をたどれば『小選挙区制』そのものが、日本型ファシズムへの道と警鐘をならしてきました。閣外協力と言っても『野党共闘』は日本の支配勢力には大きな脅威でした。ですから彼らは全力をあげ反共攻撃に徹しました。それでもなおかつ289の小選挙区の213で『野党統一候補』を擁立。62人が当選し、惜敗率90%が33.80%54しめて149「意欲と解釈」は、まさに与野党伯仲。私は双極性障害のため「一千万対話」にストップがかかりました。それでも合計280人に『比例は日本共産党』へオーケーをもらいました。県外は確か122人で電話代も高まりました。全てがマイ名簿です。（10月の中国ブロック交流会での発言は前半部分）

劇映画「わが青春つきるとも」伊藤十代子の生涯

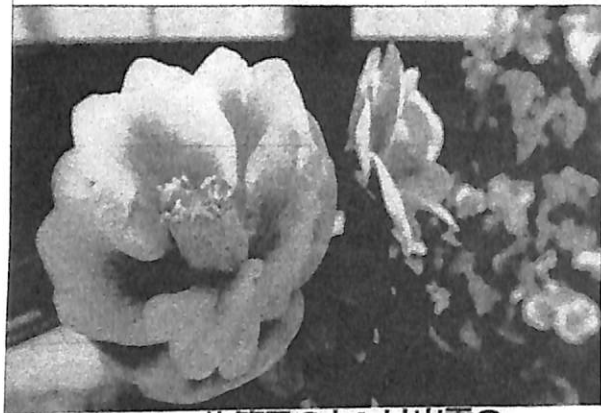
今年の9月 大田市 アステラスにて 上映決定！

県の同窓会が、一昨年から2度にわたる藤田廣登氏の講演藤田氏の著書『時代の証言者 伊藤十代子』の百冊の県内普及全県カンパでの上映権 土方田の達成と、中央への送金・・等々、精力的に取り組んできました。

コロナ禍の困難な中、今年一月には、時間を越える映画も堂々クランクアップし、四月から全国の上映が開始されます。さて、島根では今年の9月に大田市のアステラスにて二百人規模の上映を目指します。

会員・読者の皆様には大田での先行上映会に、全県からの参加を呼びかけるものです。『なお、フィルム代は上映権確保で確保されていますが、

当日の会場費・撮影技師料・宣伝広告費等が十万といふ想されるため、一枚五百円程度のカンパをお願いする可能性があります。（詳細・後日）



ツバキ『杵築日の丸』は出雲の杵築（きずき）地区で作られた品種です

（署名・・トピックス）
○吉賀町の役場の組合が取り組んでもらえることになった。 取り組みんでもらえれば百名以上の署名となり見込み。（益田支部）

○安来市では向田市議と数名の活動家の方で三十筆。 >保育園と合わせ五十筆に到達。

○松江では高取・原屋組で長命園を訪問。 十日後には二十筆が郵便 で届けられた。（高取さんの効き 目大なり。）

○大東町では上代さんにセンター役を受けてもらい、五名の方々の協力を得て三十筆到達。

○出雲では原発条例の署名活動でいろんな出会いが生まれており、早急に同盟の署名も依頼していく予定。

短歌・加藤嘉昭・故

沖の岩礁に 激つ涛あり 海狸は
風を楽しむ 如く漂ふ

(おきの イクリにたぎつなみあり うみねは
かぜをたのしむ こころなだよう)

馬島の そびらに低き 雲ありて
そこにすじ立つ 冬の日を見き

(うまじまのそびらにひくき くもありて
そこにすじたつ ふゆのひをみき)

(馬島・浜田市沖うま口の島で、かつて馬の放牧があった。
そびら→青平、)

サーフボードを 小脇にかかえ 冬涛の
激つ 突堤に 立てる若者

(サーフボードを こわきにかかえ とつなみの
たぎつジユウテイに たちるわかもの)

《石見に住む方はどなたも、海と波涛を

いつも心に置いて暮らされますよね。》

* 読み下しは編集部です

俳句

児玉信恵

ブリ捌く インターネットで
教わりて

盛り皿に おせちを並べ
嫁仕事

団らんは 花びら餅に
煎茶かな

嬪殿と 飲み交わしたり
「七冠馬」



県国賠同盟監査 稲村正志氏提供
島根県知事賞受賞受賞作品『ひまわり』